

## 神床改築鎮座祭祭文

これの新たな神床を清らかに払い清めて今し厳かにお遷し  
申しお鎮めいたしました 親神くにとこたちのみこと をも  
たりのみこと くにさづちのみこと 月よみのみこと くも  
よみのみこと かしこねのみこと たいしよく天のみこと  
をふとのべのみこと いぎなぎのみこと いぎなみのみこと  
なる天理王命の御前に慎んで申し上げます

親神様には朝な夕な私たち子供の上に限りない親心をおか  
け下され洵に感謝の念に堪えません

殊には 市 区 丁目 番地 号なる

講ではそれぞれ早くから親神様のお引寄せに与かり教人と  
して よふぼくとして又信者としてお育て下さり幾重の節も  
お蔭様で越えさせて頂きましたが この信仰の喜びを尚一層  
世の人々に少しづつでも映していききたいと念願いたしております

親神様におかれましては救け道場の出張場所として又家の  
守り神として長くお鎮まり頂きましたが その御社も時が経  
ち年月が過ぎるに従って古くなりましたので 今まで以上の  
成人を期する上からも御本部の 礼拝場ふしんの上棟式を  
旬としてこの月この日の今宵木の香も新しい神床にお移り頂  
きました

今後は益々親神様の御教を心の定規として教祖の五十年の  
ひながたを日常生活の中に生かしつつ 先祖の靈様にも一層  
感謝申し上げ時旬の御用は心の限り力の限りつとめさせて頂  
きたいとお誓い下されておりますが この 講を拠点と  
してなされるたすけ一条の道の上には珍しい不思議なお働き  
を賜り 尚講社につながる人々が混迷の世界を明るくする一  
灯となって この周辺に思召し下さる陽気ぐらしの実が次  
々と拡がって参りますよう お連れ通りの程を 一同に代わ  
り慎んでお願い申し上げます